

令和元年 山岳パトロール情報(十勝岳)

実施日：令和元年5月21日(火)

- ・十勝岳(標高2,077m)における山岳パトロールを実施しました。
- ・当日の天候は雨、十勝岳山頂は気温5℃、風速毎秒19m、視界は約50mの状況でした。
- ・濡れた体に強風が吹くと体温が奪われ低体温症のおそれがあるほか、風速が毎秒15mを超えると、風によりバランスを崩して転倒するおそれがあるので注意が必要です。
- ・十勝岳避難小屋付近の積雪は約2mあり、白銀荘から十勝岳避難小屋に向かう途中にある函状の沢は、雪解けにより増水していたので徒渉する際には十分注意して下さい。
- ・雪渓が残っている場所では、足下が滑りやすいので転倒に注意が必要です。

■ 登山道等の状況



白銀荘周辺の状況



登山口の状況



登山道の残雪状況(標高1,050m付近)



函状の沢の状況



十勝岳避難小屋の状況



スリバチ火口付近の状況

■ グラウンド火口の状況(標高1,800m付近)



⚠ 強風に注意!

■ 十勝岳山頂の状況



■ 函状の沢の増水状況



⚠ 増水時の徒渉は注意!

街中の気温は暖かくなりましたが、標高の高い山では多くの雪が残っています。

雪解け水で登山道が川のようになったり、沢が増水している場合もあるので、注意して下さい。

雨と強風が重なると、低体温症のリスクが高まるので、防雨対策をしっかりと行い、できるだけ衣類を濡らさないようにしましょう。

強風時には、勇気を持って撤退することも必要です。